

第6回 みんなの会

平成31年3月6日

吉原まちづくりセンター 視聴覚室

「こんな施設にしたいを言葉にしよう。」19:00~20:45

1. 学びとあそびのある繰り返し訪ねたくなる施設

(いついっても人でにぎわっている場所、来るたびに何か新しいことがあり、何度も訪れたくなる場所、初めての人も気楽に来られる場所で、みんなが居心地の良い場所、明るくて安心できる場所、ファミリーで来た時にそれぞれが楽しめる場所)

2. 生活に身近な地域の環境に興味を持った人が、ヒントをもらえて、更に知りたくなって、行動したくなる施設

(小学4年生に少し先の未来を見せる施設、各人・各グループにあった学習・体験をコーディネートできる人がいる施設、環境学習の初歩から専門までいろいろな案内人がいる施設、ゴミを拾って来場したら温泉施設の割引券がもらえる(クリーンロード構想)やゴミ拾いを3人で分担し、分別を確実にする競走、楽しみながらすることが、みんなの役に立つという仕掛けをするのはどうか)

3. 富士山と田子の浦港、工場夜景、工場見学を中心として、ヘドロの街から環境先進都市へ変化した富士市を内外へPRする施設

(話題性の提供(ゴミピットバーなど)(富士山をいい意味で利用して)、フェスの開催、民間の運営者らしいソフトな情報発信)

「コンセプトカラーを決めよう。」20:47~21:00

看板、椅子、ユニフォーム、カーテンに使えるか。床、建物外側のエントランス側はどうか。

環境だから、森のみどりと富士山の青、富士山の青と田子の浦の青、富士山の青と女子駅伝のピンク、森のみどりと実りの赤。オリンピックカラーの濃紺と白がいいかも。

でも、緑・白・青ではファミリーマートだし、緑・白・赤ではセブンイレブン、青と白もローソンだからダメ。意外と環境のイメージカラーとコンビニのイメージカラーは似ているかも。

多様性を表すレインボーカラーはどうか。環境学習戦隊5レンジャーの話もあったし、カラーコンテンツを考えようも「リデュース、リユース、リサイクル、自然教育、公害学習、観光、その他(場の提供、周囲との関係)」で7つにわかれている。インタープリーターの得意分野を色のついたピンバッジで表すといいかも。デザイナーさんのセンスが良ければ、床が7色。7色なら子供達が色踏み遊びもできて楽しい。